

令和 3 年春の叙勲
叙勲伝達式における総領事ご挨拶
(令和 4 年 4 月 13 日 於:南カントー大学)

- ・グエン・トゥック・ヒエン・カントー市副人民委員長
- ・レー・ヴィエット・ズン・カントー市越日友好協会会長
- ・グエン・ティエン・ズン・南カントー大学理事長
- ・本日も列席の皆様

- 勲章授与に先立ち、日本国政府を代表し一言ご挨拶申し上げます。
- 令和 3 年度春の叙勲において、ヴォー・トン・スアン元カントー大学教授が旭日中綬章を受章されました。旭日中綬章は日本の外交・学術などの発展に寄与し、国家又は公共に対し功労があり、顕著な功績を有する方を日本政府として表彰するものです。特にスアン教授は、農業分野における日越協力の発展に多大な貢献をされてきたことが認められ、今般の受章となりました。
- 昨年のコロナ感染第 4 波はベトナム南部が大きな影響を受けましたが、ウィズコロナの新しい日常がはじまり、本日、こうして叙勲伝達式を対面で開催できる運びとなり、スアン教授に勲章を直接お渡しできることを私自身非常に光栄に感じています。そして、スアン教授、ご家族の皆さま、そして本日お集まりいただいた多くのスアン教授を慕う関係者の皆さまと共にスアン教授の受章をお祝いできることを大変嬉しく思います。ドクターライスこと、スアン教授の今般の受章に心から祝意を表します。

- スアン教授は、南北統一前の 1974 年に九州大学に留学され、稲作技術の研究を行い、同大学より農学博士号を取得されました。帰国後は日本留学で培われた研究成果を基盤とし、食糧不足に直面していたベトナムのコメ収量を改善すべく、害虫耐性のある品種の開発や市場志向型のコメ生産制度の導入にご尽力されました。コメの純輸入国であったベトナムは今や世界有数のコメ輸出国となりましたが、スアン教授はその地位を築く基礎を作り、ベトナム農業の発展に多大なる貢献をされました。まさしく、スアン教授が「ドクターライス」と呼ばれる由縁です。スアン教授の功績は、ベトナム国内には言うに及ばず、日本を含む広くアジア地域や欧州においても顕彰されており、まさしく「世界のドクターライス」であります。
- スアン教授は留学時代の 1970 年代から現在に至る約半世紀にわたり、九州大学との学術交流を継続しており、スアン教授の指導を受けた日本人研究者がいまなお農業分野の研究で活躍しています。こうしたスアン教授の兄弟弟子の存在は農業分野における日越関係が発展していくうえでの基盤であり、その意味でスアン教授のご貢献は、今後も世代を超えて引き継がれるものと考えております。
- また、スアン教授のご貢献は、農業分野における日本の対ベトナム ODA 実施への協力、日本の農業協同組合(JA)に関する研究とそのベトナムへの紹介など多岐に亘ります。日本が初めてアフリカ大陸での三角協力を実施した際には、農学専門家として第三国における日越両国の協働にも貢献されました。スアン先生は農作物の買いたたきを防ぎ、ベトナム農家の生計向上をするうえで、ベトナムでも日本の JA のような組織の導入が必要という認識の下、今も精力的にベトナムにおける農業政策の立案に携わられています。

- さて、昨年 11 月、岸田政権最初の外国賓客としてチン首相が日本を公式訪問されました。これはまさしく日本とベトナムがいかに緊密で親しい友人であるのかということを如実に示しています。日越両国は非常に重要な戦略的パートナーであり、両国の緊密な信頼関係は、2023年の日越外交関係樹立50周年に向けて一層の発展を見せることを確信しています。このような二国間の緊密な関係の基礎は、スアン教授をはじめとする両国の交流・相互理解の促進に携わる方々の日々の努力の積み重ねが基礎となっていますが、その中でも日越二国間関係の黎明期から、両国関係のパイオニアとしてスアン教授の果たした役割は異彩を放つものがあります。スアン教授が半世紀にわたって築き上げられた日越農業分野における学術交流の基礎は、後世に亘り、日越関係の発展の基礎になると考えています。今もなお現役で活躍されるスアン教授のたゆまぬ努力と深い見識に心からの敬意を示すとともに、これまでのご功績に改めて感謝申し上げたいと思います。
- 最後になりますが、令和 3 年度春の叙勲で旭日中綬章を受章されたヴォー・トン・スアン元カントー大学教授、スアン教授を支えてこられたご家族、ご関係者の皆様にお祝い申し上げ、そして本日ご臨席の皆様の益々のご発展を祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(了)